

第3回学校評議員会(記録)

平成30年2月2日(金)

1)3学期の取り組み(別紙参照)

小学部:

○今学期は学部として大きな行事もなく、一年のまとめとして学習に取り組んでいる。5月に1年生の児童が亡くなり悲しい思いをしたが、2学期には“みなし”訪問の児童が転入してきて52名の児童たちは元気に頑張っている。

中学部:

○初任者による美術の研究授業で「焼き物の皿作り」を行った。土(陶土)に触れることが初めての生徒の中には、手が汚れると嫌がる子もいたが、土が皿へと変化していく工程に興味を持つと張り切って取り組んでいた。

高等部:

○昨年末に卒業生が来校し「ひとり暮らしの生活」について講話をしてもらった。グループホームにおける共同生活をとおして、人とのつながりの重要性や感謝の気持ちを持つことなどを話してくれた。在校生も、今後の将来について考えるいい機会となった。

2)学校評価について

○集約結果の紹介(別紙より抜粋)

・生徒からの評価

「授業では、実験やものづくりなど体験学習がたくさんある。」

(よいと思う……22%)

(普通に思う……67%)

(悪いと思う……6%)

・保護者からの評価

「本校は子どもの学習状況を適切に評価し、通知表の工夫がなされている。」

(よいと思う……78%)

(普通に思う……16%)

(やや不十分……6%)

・教師からの評価

「勤務上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気になっている。」

(よいと思う……14%)

(ややよいと思う……80%)

(やや不十分……6%)

3)校内研修報告(別紙参照)

テーマ「地震・津波対策に向けた校内整備及び機能化」

(成果)

・各学部、学年、特活として取り組み、搬送方法や児童生徒の実態に合った避難時の用具確認(担架おんぶ紐)の確認、保護者と相談しながらの防災バッグの確認ができた。他。

(課題)

・一時避難所への避難訓練は継続的に実施できているが、本校3階への避難訓練や児童生徒の徒手搬送訓練は未実施である。そのため、毎年度実施する訓練内容を検討していく必要がある。他。

4) 質疑応答

Q:生徒へのIT化は進んでいるが、教師側のIT化が進まず、事務処理に追われている、とのことだが、本校ではどうか。

A:これまでは、特別支援学校向けのシステムが無かった。今年度は、支援システム導入のモデル(検証)校として、試行錯誤しているが軌道に乗せてゆきたい。今後IT化は増々進んでゆくだらう。

Q:3階の避難の際、階下に降りるか、その場にとどまるかの判断はどうしているか。

A:「避難しない」避難の仕方という選択肢もあると思う。避難所への移動は当然の事ながら、児童生徒の状況を見て、「残る(止まる)」方法についても検討していく必要がある。

Q:クーラーの効きが悪いということだが、どういう現状なのか。通常考えられる理由(冷気洩れとかクーラー事態の容量不足など)ならば、工夫の仕様がなにか。

A:最も効きが悪い箇所は、吹き抜け構造となっている場所。また車イスを利用する児童生徒の実態から、玄関や廊下はどうしても閉め切る訳にはいかない。即効性があり現実的なのは、単独クーラーを設置し遮熱カーテン等で仕切る(個室化する)ことだが費用がかかるため、年次的に対応していきたい。